

プログラム

2017年2月11日(土)

東京大学伊藤国際学術研究センター B2F 学術集会会場

開会挨拶

9:20~9:30

シンポジウム1 「がん免疫療法の可能性 ~基礎から臨床まで~」

9:30~10:45

司会：遠藤 格(横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学)

神垣 隆(瀬田クリニックグループ 臨床研究・治験センター)

- S1-1** インテグリン制御を介した癌細胞の細胞死誘導機構 P.22
豊福 利彦(大阪大学大学院医学系研究科 免疫再生制御学)
- S1-2** 抗CD4抗体と抗PD-1/PD-L1抗体の併用によるがん免疫療法 P.23
上羽 悟史(東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学教室)
- S1-3** CD8T細胞代謝制御によるがん免疫療法 P.24
榮川 伸吾(岡山大学 免疫学)
- S1-4** 小児造血器腫瘍における血縁者間HLA不適合/
ハプロ造血細胞移植後のCliniMACSシステムを用いたNK細胞/
TCR γ δ 鎖陽性T細胞予防的輸注療法の治療成績 P.25
加藤 啓輔(茨城県立こども病院 小児血液腫瘍科)
- S1-5** 大腸癌に対する化学免疫療法の意義 P.26
吉田 陽一郎(福岡大学 消化器外科)

教育講演

11:00~11:40

司会：清野 研一郎(北海道大学 遺伝子病制御研究所)

- イメージングが拓く免疫チェックポイント分子による
T細胞活性化の時空間的制御機構 P.16
横須賀 忠(東京医科大学 免疫学分野)

ランチョンセミナー

12:00~12:50

司会：副島 研造(慶應義塾大学医学部呼吸器内科 臨床研究推進センター TR部門)

- 反省からの大逆転
—免疫チェックポイント阻害剤の開発の歴史から学ぶ今後の方向性—

吉村 清(国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野)

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

ポスターディスカッション

13:10～13:40

臨床特別セミナー

13:50～14:30

司会：副島 研造（慶應義塾大学医学部呼吸器内科 臨床研究推進センター TR 部門）

免疫チェックポイント阻害薬の適正使用：チーム医療としての副作用対策 P.18

中西 洋一（九州大学大学院 胸部疾患研究施設）

シンポジウム2 「免疫治療新戦略 ～ブレイクスルーを超えて～」

14:40～16:20

司会：谷 憲三朗（東京大学医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門）

中面 哲也（国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野）

S2-1 抑制性 T 細胞による移植寛容誘導とその維持機構 P.28

内田 浩一郎（順天堂大学 アトピー疾患研究センター）

S2-2 制御性 T 細胞を標的とした抗 CCR4 抗体がん免疫療法 P.29

和田 尚（大阪大学 臨床腫瘍免疫）

S2-3 ネオアンチゲンに対する免疫応答と免疫シグネチャーの解析 P.30

松下 博和（東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座）

S2-4 癌への多因子増殖制御型アデノウイルス (m-CRA) の医師主導治験と免疫遺伝子ウイルス治療への展望 P.31

小賤 健一郎（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野）

特別講演

16:30～17:20

司会：島田 英昭（東邦大学医学部外科学講座 一般・消化器外科学分野）

Muse 細胞がもたらす医療革新 P.14

出澤 真理（東北大学大学院 医学系研究科 細胞組織学分野）

閉会挨拶

17:20～17:30